

～私たちの思い～

あなたの思いを
一緒に感じたい、
一緒に考えたい、
一緒に話したいと
思っています。



だれかに話せば、
少し落ち着いたあなたが
顔をだすことができます。
私はその“だれかに”
になりたいと思っています。

相談される方の気持ちに
添いながら、ていねいに
お話を聴くことを
大切にしています。



子どもの虐待ホットライン

06-6646-0088

受付日： 月～金（土日祝日お盆・年末年始は休み）

受付時間： 午前11時～午後4時

子どもの虐待ホットラインは、1990年の当協会
設立と同時にスタートした、日本で最初の児童虐待
防止の電話相談です。

子どもの虐待ホットラインの特徴

専門的な知識を持った相談員が対応します

相談員は、福祉・心理・医療・保健・教育・保育
の有資格者等で、親や子どもに関わる現場で経験
を積んだ専門家です。

電話をかけてこられる方々の話に耳を傾け、一緒
に考えていきます。

匿名で相談できます

子どもの虐待ホットラインは、匿名で相談をうか
がいます。秘密は守られます。

あなたのお電話、お待ちしております。

認定NPO法人

児童虐待防止協会

「子どもの虐待ホットライン」

06-6646-0088

聴かせて あなたの気持ち



認定NPO法人

児童虐待防止協会

<http://www.apca.jp>
(APCAで検索を)



聴かせて あなたの気持ち

子育てに悩んだり、子どもにどう接すればいいかわからない方、親からの虐待に悩んでいる方、周囲の親子について心配をされている方、そんなあなたの気持ちをお聴きし、一緒に考えたいと思っています。

子どもが言うことを聞いてくれない
いらいらする

私は親失格では・・・

子どもの時に虐待されたことが忘れられない

近所でいつも泣いている子どもの声がある

お電話ください 子どもの虐待ホットライン

06-6646-0088

虐待はなぜ起きる

虐待はどこの家庭でも起きる可能性があります。
こんなときに虐待をしてしまうことがあります。

夫婦関係の不和や、経済的な問題など生活の中で
様々なストレスを抱えたとき

育児の支援者がいなかったり、近所とのつき合いも
なく孤立してしまったとき

子どもが育てにくかったり、親のイメージどおりに
育たないとき

親が、心や体に健康問題を抱えていて
子どもにまで気持ちが向きにくいとき

子ども虐待とは

親や親に代わる養育者などが子どもに対して行
う以下の行為を言います。

身体的虐待

子どもを叩いたり、
けったりなど暴力を
ふるい、身体に苦痛を
与えること。

ネグレクト

適切な衣食住の世話
をしない、学校に行か
せない、医者に診せな
いなど、養育の拒否や
子どもを放置するこ
と。家族や第三者の虐
待を見すごすこと。

心理的虐待

子どもの存在を無視
する、おびえさせる、
夫婦間暴力を行うな
ど精神的に苦痛を与
え、自尊心を傷つける
こと。

性的虐待

性的暴行、性関係の
強要、性的な刺激を
与える、ポルノなど
の被写体にするな
ど、子どもに性的な
刺激や行為をさせる
こと。

